



秋号のテーマ

☆日常ケア ☆院長インタビュー

日常ケア

知ってて当たり前☆
わんちゃん
ねこちゃんの常識

爪切り&足裏の毛刈り

爪は短く、肉球の間の毛はスッキリと刈りましょう。
わんちゃんにとって肉球は滑り止め！毛に覆われていると滑りやすく歩きにくいので関節を痛めてしまいます！
爪は伸び続けると巻き爪になったり割れて出血をしてしまいます！



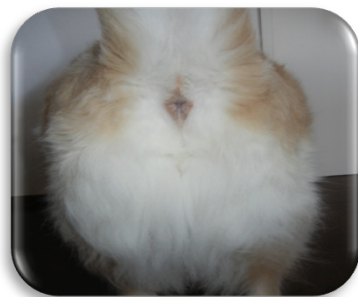
肛門腺絞り

肛門腺は溜り過ぎると破裂してしまうことがあります！



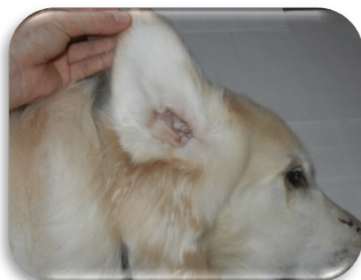
肛門バリカン

ウンチが付きやすい肛門周囲の毛は短くカットする方が衛生的です。また、尿が付きやすい陰部周りのカットも膀胱炎などの予防にもなります。



耳掃除

自宅でケアする場合、指が届く範囲で洗浄液を付けたコットンなどで優しく拭き取ってあげましょう。また、耳の穴の周りの毛は短くし通気性を良くしてあげましょう。
(特に垂れ耳の子)



歯磨き

歯がキレイだと寿命が3年延びると言われています！ガーゼや歯ブラシで最低でも3日に1度は歯磨きをしましょう！



出来物やケガなどにいち早く気づくことへも繋がります！

ブラッシング

毛玉や毛もつれは皮膚や被毛に良くありません。コミュニケーションも兼ねてこまめにブラッシングを行いましょう☆



目ヤニ拭き

目ヤニを放置していると、細菌が繁殖し、皮膚がタダれてしまったりします。コットンなどで優しく拭き取ってあげましょう。

また、目周りの毛は短くスッキリさせることをおすすめします！目に毛が入りやすいと目を傷付けてしまうこともあるからです。



常日頃行うことにより病気の早期発見になる＝長生きへ☆

7月に院長がカナダにて行われた世界獣医皮膚科会議に参加しました！
今回もその模様をインタビューしてきました☆

Q1 今回はどのような学会でしたか？



院長: 4年に1度世界中のどこかの国で開催される**皮膚病だけの学会**です。今回はカナダのバンクーバーで開催されました。バンクーバーは2年前の冬期オリンピックが開催された所です。

Q2 今回の学会で一番印象に残っているのは何でしょうか？



院長: 皮膚科専門の学会ですので米国の大きな学会に比べると規模はそれほど大きくなくこじんまりとした学会という印象でした。ただし、日本の獣医師の参加は多く世界中で**米国について日本人の参加者が多かった**です。約140名の日本の獣医師が参加したことを聞き驚いたと同時に**日本の獣医師の熱心さは世界中でもトップクラス**であることを実感致しました。

Q3 今回の開催地であるカナダはいかがでしたか？



院長: 今回は学会後、バンフ国立公園に向かいカナディアンロッキーと氷河を堪能致しました。まさに『**百聞は一見にしかず**』で、一生に一度は絶対に体験すべき所だと思いました。カナダは国をあげて自然を大切に
する国で、冬期オリンピックの時にハイヤーを全て「プリウス」にかえたほどです。

レイク・ルーズ氷河にて



ブッチャトガーデンにて(カナダで最も有名なフラワーガーデン)



院長の話聞いて日本の獣医師の意欲や熱心さなら日本の獣医療もどんどん発展していこうと感じました。また、カナダの大自然を一度は体感してみたいです☆